
コスモII

香月 宙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コスモエイ

【Zコード】

Z2506D

【作者名】

香月 宙

【あらすじ】

あれから太は・・・この地球は・・・どうなつていいくのかこれから先の道を・・・決めるのは僕だ！――

大学

あれから1年 僕は某大学で 宇宙物理研究を専攻している。

例のパソコンは あれ以来なんの変化もなく
奇妙な幾何学文字や 音声など まるで嘘だったかのようだ。

僕の「力」だが・・・だいぶコントロールできるよつになった。
妹以外の人間でも 集中すれば「サイコメトリー」することができる。

僕の中で こんな「力」など封印したいという気持ちと
これから先 僕に起ころるであろう事の選択肢を多く持つためには
できるかぎりの情報として「力」は不可欠だという気持ちが 常に
交錯している。

そして ここにいる人間たちにどう接するべきかを模索中だ。

ここ そう・・・宇宙物理を専門とする者が集まるところ・・・
彼らの言った 自由に接触できる場所 つまり・・・NASAに行く
一番の近道はここだ。

ここには たぶん いや絶対に いるはずだ・・・//ユースが・・・

今の僕には すれ違う者がすべてが//ユースに思える日もあり
そうであってほしくない気持ちのが強いのに気づいて 失笑する日
もある。

仲間・・・?探しているのか・・・避けたいのか・・・
この気持ちを共有したいのか・・・ふざけるなと怒鳴りたいのか・・・
・

僕には 彼らが分かるだろうか いや・・彼らも僕を探す事ができるのか

どこにいるんだ・・ 僕と同じように警戒しているのだろうか

誰に対しても 自然と自分の気持ちをブロックするのにも慣れた。
そのせいか 学内では表面的には仲のよい友人も 何人かできた。
一般的な大学とは違つて こここの特殊な研究と煩雑な日常で
あまり 他の学生と関わらなくてすんでいるのが なによりだ。

ただ・・

今僕が一番疑いつつあるのが 僕の研究室の高田教授だ。
最初に彼の授業を受けた時 何がどうつていつのでもなく ただな
んとなく

懐かしい テジャブとでもいづのような雰囲気を感じたのだ。

それが ただ単に父に似ているというだけなのか
父 すなわち その・・・生命体として似ているのか
いづれ 分かるだろうが もうどっちでもいいや とさえ思えてき
た。

高田教授の講義は いつも確定的な言語だ。

普通なら学説や仮説の繰り返しであるはずの 宇宙について

「おそらく」とか 「たぶん」とかという言葉は決して使わない。

彼は 何故・・何故そう言い切れる…?

他の学生は聞き慣れているのか それが普通なのか
教授の講義とはこういうものだと思つてゐるのか

何故・・何故 彼に疑問を抱かない！？

関わるべきか・・・この疑惑を確認するべきか・・・
でもじうやって・・・

「力」を使えば 簡単だろうが その場合僕の事も知られることになる。
いや もう知っているかも知れない。

その答えが すぐにやつてくるとは その時はまだ知らなかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2506d/>

コスモII

2010年12月13日19時47分発行